

アルブミン・免疫グロブリンを除去して EV を単離 ExoQuick ULTRA シリーズ

ExoQuick でエクソソームなどの EV を沈殿させ、専用カラムによりアルブミンや免疫グロブリン (Ig) などの夾雑物質を除去することで、高精製度の EV を簡便かつ高収率で単離できるキットです。

製品ラインナップ

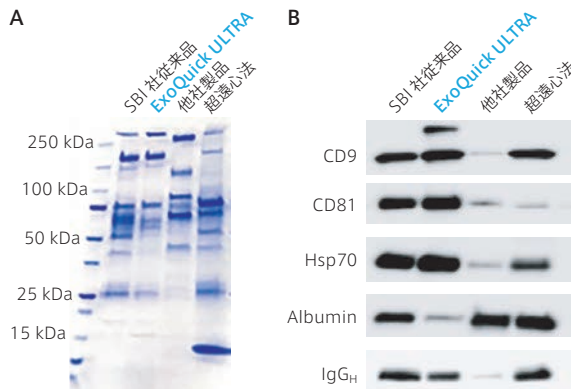
[メーカー: SBI]

試料	品名	キット内容	試料量	ExoQuick の量	使用回数	商品コード	包装	価格 (¥)
血清・血漿*1	ExoQuick ULTRA	ExoQuick solution*2, Purification column, Collection tube, 2 ml Eppendorf tube, Buffer A/B	250 µl	67 µl	20 reactions	EQUltra-20A-1	1 kit	106,000
組織・細胞培養液/尿/髄液	ExoQuick-TC ULTRA	ExoQuick solution*2, Purification column, Collection tube, 2 ml Eppendorf tube, Buffer A/B	5 ml	1 ml	20 reactions	EQUltra-20TC-1	1 kit	106,000

*1 血漿の場合、Thrombin Plasma Prep (#TMEXO-1) での前処理を推奨します。詳細はフナコシ Web をご覧ください。

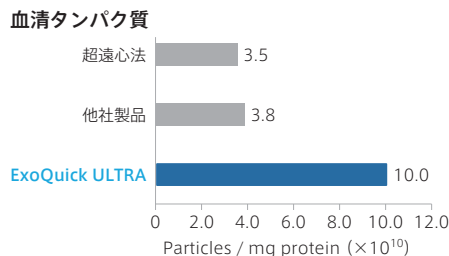
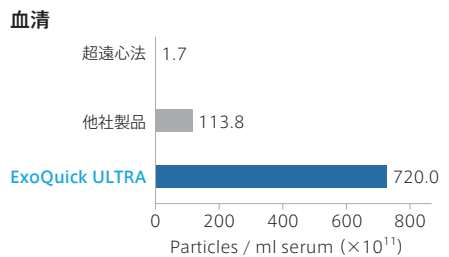
*2 ExoQuick または ExoQuick-TC が付属します。

使用例



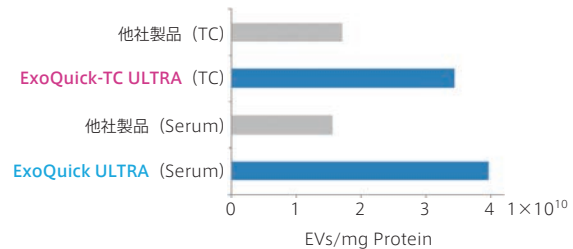
各エクソソーム回収法による精製度の違い

A: 各方法でエクソソームを回収し、CBB 染色によりタンパク質量を確認した。
B: 各方法でエクソソームを回収し、ウェスタンブロットングによりエクソソームマーカーや夾雑タンパク質を半定量した。
本製品で回収したエクソソームには夾雑タンパク質が少ないことがわかる。



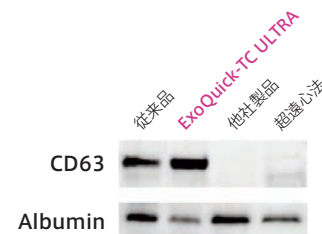
各エクソソーム回収法による収量の違い

各方法で血清から EV を回収し、fNTA 法 (蛍光ナノ粒子トラッキング解析法) により EV 粒子数を測定した。使用した血清または血清タンパク質の量当たりの粒子数をグラフ化した。



エクソソームの収量の比較

ExoQuick-TC ULTRA, ExoQuick ULTRA および他社製品によりそれぞれ細胞培養液 (TC) または血清 (Serum) から調製したエクソソームを、ExoGlow-NTA Fluorescent Labeling Kit (p.20 参照) で蛍光標識後、fNTA 法 (蛍光ナノ粒子トラッキング解析法) で計数し、用いたタンパク質の量当たりでグラフにした。

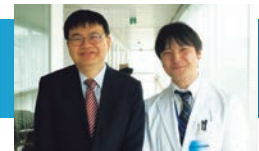


エクソソームの収量および夾雑アルブミン量の比較

各方法で調製したエクソソームを、エクソソームに特異的なマーカーである CD63 量と、夾雑物質であるアルブミン量をウェスタンブロットングにより比較した。ExoQuick-TC ULTRA を用いた場合は最も CD63 量が多い一方で、夾雑物のアルブミン量は最も少ないことがわかる。

ユーザーレビューを Web 公開中

ExoQuick ULTRA を用いた エクソソーム抽出



慶應義塾大学 医学部 生理学教室
森本 悟 特任講師 岡野 栄之 教授 (左), 森本 悟 特任講師 (右)

エクソソームを分離精製する際に、従来からの超遠心法は使用実績の高い優れた方法ではあるが、多くの試料を扱う場合や、簡便に夾雑物の少ない高純度なエクソソームを得たい場合に、本キットの使用をお勧めしたい。

Web ページ番号 67903

検索